YAMAHA

# MusicCAST

## バージョンアップマニュアル Vol.2


はじめに ..... 2
バージョンアップする ..... 3
機能・設定にロックをかける（ロック機能） ..... 8
機能のロックをオン / オフにする ..... 9
ロックした機能を操作する（パスワード入力） ..... 10
パスワードを変更 / 初期化する ..... 11
パソコンでライブラリーを編集する（ブラウザ機能） ..... 15
使用環境 ..... 15
編集画面の説明 ..... 15
パソコンをサーバー機に接続する ..... 16
アイテムの名称を編集する ..... 18
プレイリストを新規作成する ..... 19
プレイリストにアイテムを追加する ..... 21
プレイリストからアイテムを削除する ..... 22
アイテムを別のプレイリストに移動 / コピーする ..... 23
プレイリストのアイテム登録順序を変更する（再生順序を変更する） ..... 25
CDDB を使用してアルバム情報を更新する ..... 27
アルバム情報を更新する ..... 27
アルバム情報の更新が可能かどうか確認する ..... 29
ブックマークからプレイリストを作成する ..... 30
文字入力の学習機能を使用する ..... 32
学習機能をオン / オフにする ..... 32
学習データを消去する ..... 33
日付と時刻を設定する ..... 34
自動で設定する（NTP サーバーを使用する） ..... 34
日付と時刻を直接入力する ..... 35
12/24 時間表記を切り替える ..... 36
データ・設定を個別に初期化する ..... 37
曲統計データを初期化する ..... 37
ネットワーク設定を初期化する ..... 40
ファンクションキー設定を初期化する ..... 41
チューナープリセットの局名を編集する ..... 42

# はじめに

「バージョンアップVol.2」では、MusicCASTの各機能にアクセス制限を適用する「ロック機能」や、パソコン上でライブラリーの編集を行う「ブラウザ編集機能」、既存アルバムの情報を取得・更新する機能など新たなツールをご使用のMusicCASTシステムに追加することができます。バージョンアップによりさらに進化するMusicCASTで、快適な音楽ライフをお楽しみください。

尚、バージョンアップを実行すると「バージョンアップVol.1」の機能も同時に追加されますが、本書には「バージョンアップVol.1」に関する情報を記載しておりません。「バージョンアップVol.1」の取扱説明書は下記のMusicCAST ホームページから別途入手してください。インターネットをご利用になれない場合は、入手方法をお客様ご相談センター (☞44ページ) までお問い合わせください。

YAMAHA MusicCASTホームページ:
http://www.yamaha.co.jp/product/av/support/download/musiccast/index.html

バージョンアップVol.2の内容は以下のとおりです。

- **機能・設定をパスワード保護 -ロック機能- (8ページ)**
  パスワードでサーバー機の機能や設定を保護することができます。
- **パソコン操作でライブラリーの編集 -ブラウザ編集機能- (15ページ)**
  パソコンのウェブブラウザを使用してライブラリーの内容を編集することができます。
- **アルバム情報の更新 (27ページ)**
  アルバム情報（曲名、アーティスト名など）が未取得の際などに、CDDBデータベースから最新アルバム情報を取得することができます。
- **サーバー機操作でクライアントのブックマークからプレイリスト作成 (30ページ)**
  以前はクライアント機操作のみで可能だったクライアント機ブックマークのプレイリスト作成がサーバー機操作でも可能になりました。
- **文字入力の学習機能 (32ページ)**
  以前は常にオンだった学習機能のオン/オフ切り替え、学習データの消去が可能になりました。
- **「日付と時刻」メニューの改善 (34ページ)**
  自動設定と手動設定が別々のメニューに分割され、12/24時間表示の選択が可能になりました。
- **データ・設定を個別に初期化 (37ページ)**
  曲統計データ・ネットワーク設定・ファンクションキー設定の個別リセットが可能になりました。
- **チューナープリセット局名の編集 (42ページ)**
  ヤマハAVアンプを接続した際にサーバー機で表示されるチューナープリセット局名を編集することができます。
- **PCM配信画面でクライアント名をリスト表示**
  以前はPCM配信クライアントを指定する際にクライアント番号を選択していましたが、クライアント名からの選択が可能になりました。(☞PCM再生クライアントの設定：MCX-1000取扱説明書193ページ)
- **ポップアップ画面の表示**
  CDDBの情報が複数検索された場合、またCD録音・CD作成が完了した場合にその情報をお知らせするポップアップ画面が表示されるようになりました。他の操作を実行している場合など、どの画面が表示されていてもその情報を知ることができます。(☞CDDBの候補選択：MCX-1000取扱説明書63ページ、CD録音：同25ページ、CD作成：同123ページ)
- **クライアントバックライト**
  スリープ状態のクライアント機でボタン（SELECTキー以外）を押し、スリープ状態を解除せずにディスプレイのみ点灯できるようになりました。暗い場所で時刻を確認する際ご利用ください。(☞スリープ機能：MCX-A10取扱説明書71ページ)

# バージョンアップする

以下の手順でバージョンアップを実行して新機能をインストールすることができます。
バージョンアップを実行する前に必ず右記の「ご注意」をお読みください。

## ▶ サーバー機のバージョンアップ

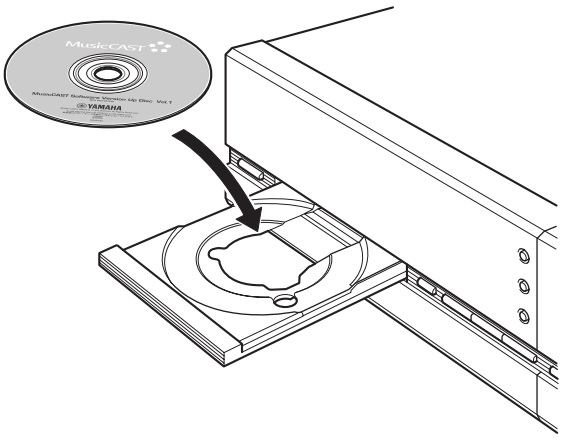
**1** 「トップメニュー」➔「システム設定」➔「システムユーティリティ」➔「システムのアップデート」を選択する。




システムのアップデート画面が表示されます。

**2** バージョンアップCDをディスクトレイに入れ、ディスクトレイを閉じる。

ディスクトレイを開閉するにはOPEN/CLOSEキーを押します。



CDが自動的に読み込まれ、「アップデートの準備ができました」というメッセージが表示されます。

**ご注意**

- **バージョンアップは、サーバー機とクライアント機が通信できる状態で行ってください（☞ MusicCASTクイックマニュアル13ページ）。**
- バージョンアップは必ずサーバー機とすべてのクライアント機で行ってください。
- バージョンアップはすべてのクライアント機の再生を停止してから行ってください。
- バージョンアップ中に電源の切断などが起きると、ハードディスクにダメージを与える場合がありますのでご注意ください。停電などで電源が切断されてしまった場合はリカバリー（☞6ページ）を実行してください。

**ご注意**

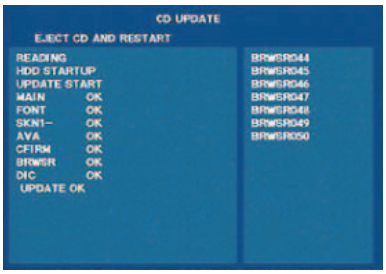
CDをディスクトレイに入れる際は、レーベル面を上にしてディスクトレイの溝にきちんと収まるように配置してください。

**ご注意**

メッセージが表示されない場合は、バージョンアップCDを入れ直してください。
バージョンアップCDを入れ直してもメッセージが表示されない場合は、お客様ご相談センター（☞44ページ）までお問い合わせください。

**3** SELECTキーを押す。




CDの読み込みが開始され、CD UPDATE画面に「READING」が表示されます。読み込みがすべて完了すると、画面左下に「UPDATE OK」というメッセージが表示されます。

**4** CDを取り出しディスクトレイを閉じてから、STANDBY/ONキーを押す。

サーバー機がスタンバイモードに切り替わります。

**5** 再度STANDBY/ONキーを押す。




サーバー機が再起動され、トップメニューが表示されます。
システムバージョン画面（☞MCX-1000取扱説明書203 ページ）のMain CPU 欄とMCX-A10欄に「3.0.x」と表示されていれば、サーバー機のバージョンアップは完了です。
引き続きクライアント機のバージョンアップを実行してください。

**バージョンアップの再実行**

あらかじめ「バージョンアップVol.1」がインストールされていない場合、トップメニューが表示された後、「アップデートをもう一度行ってください」というメッセージが表示されます。「OK」を選択してSELECTを押し、サーバー機のバージョンアップを再度実行してください。

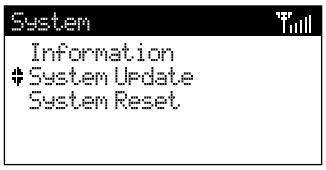
**ご注意**

正しいバージョン番号が表示されていない場合、ファイルのダウンロード時またはCD作成時のファイル破損などが考えられます。MusicCASTホームページ(☞2ページ)からファイルを再ダウンロードしてバージョンアップCDを作成した後、サーバー機のバージョンアップを再度実行してください。

## ▶ クライアント機のバージョンアップ

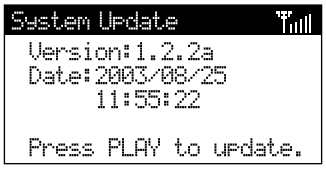
**6** 「Top Menu」➔「Setup」➔「System」➔「System Update」を選択する。

Top Menu画面を表示するには、MENUキーを約2秒間押します。




System Update画面が表示されます。

**7** PLAYキーを押す。




更新情報の読み込みが開始され、System Update画面に「Receiving」→「Data Check」➔「Flash Erase」➔「Flash Write」➔「Verify」➔「Update O.K.」が表示されます。この後、クライアント機が自動的に再起動されTop Menu画面が表示されます。

Information画面（☞ MCX-A10取扱説明書72 ページ）のVersion 欄に「3.0.x」と表示されていれば、クライアント機のバージョンアップは完了です。

**クライアント機のバージョンアップ**

サーバー機のバージョンアップ終了後、すべてのクライアント機のバージョンアップを行ってください。

**メモ**

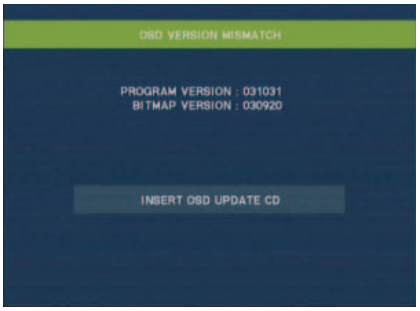
左図のバージョン番号は表示の一例であり、実際のものとは異なります。

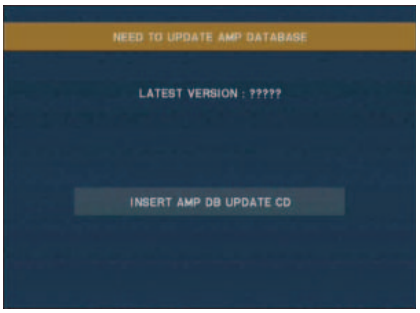
## ▶ サーバー機のリカバリー

電源の切断などでバージョンアップが中断した場合は、サーバー機を起動してから以下の手順でリカバリーを実行してください。

### ケース1

・「OSD VERSION MISMATCH」画面が表示された
・「NEED TO UPDATE AMP DATABASE」画面が表示された




上記の画面が表示された場合、リカバリーが自動的に開始されます。リカバリーがすべて完了すると、画面左側に「UPDATE OK」または「RECOVERY OK」というメッセージが表示されますので、以下の手順でサーバー機を再起動します。

**1** STANDBY/ONキーを押す。
サーバー機がスタンバイモードに切り替わります。

**2** 再度STANDBY/ONキーを押す。
サーバー機が再起動されます。
この際、トップメニューが表示されていればリカバリーは完了です。
再度リカバリーが自動的に開始された場合は、画面指示に従って再リカバリーを実行してから、上記の手順でサーバー機を再起動してください。

### ケース2

・ トップメニューが表示され正常に操作できる（外見は正常だが電源の切断などでバージョンアップを完了できなかった）
・ トップメニューが表示されたが画面に乱れがある

サーバー機のバージョンアップを再度実行してください(☞3ページ)。

### ケース3

・ トップメニューが表示されたが正常に操作できない
・ 正常に起動されない

お客様ご相談センター (☞44ページ)までお問い合わせください。

**ご注意**

リカバリーが完了するまでは、バージョンアップCDを取り出さないでください。

**バージョンアップの確認**

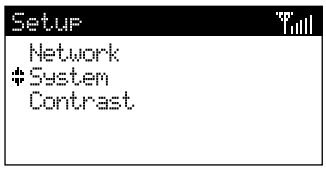
システムバージョン画面（☞MCX-1000取扱説明書203ページ）のMain CPU欄とMCX-A10欄に「3.0.x」と表示されていることをご確認ください。

## ▶ クライアント機のリカバリー

電源の切断などでバージョンアップが中断した場合は、クライアント機を起動してから以下の手順でリカバリーを実行してください。

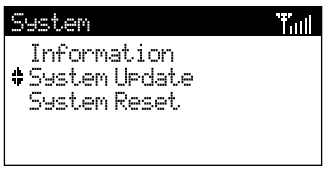
### ケース1

Top Menu画面が表示されずにSetup画面が表示された




以下の手順でクライアント機のリカバリーを実行します。

**1** 「System」➔「System Update」を選択する。




System Update画面が表示されます。

**2** PLAYキーを押す。




リカバリーが開始され、System Update画面に「Receiving」➔「Data Check」➔「Flash Erase」➔「Flash Write」➔「Verify」➔「Update O.K.」が表示されます。この後、クライアント機が自動的に再起動されTop Menu画面が表示されます。
これでクライアント機のリカバリーは完了です。

### ケース2

Top Menu画面が表示され正常に操作できる（外見は正常だが電源の切断などでバージョンアップを完了できなかった）

クライアント機のバージョンアップを再度実行してください(☞5ページ)。

**ご注意**

「System Update」を選択する際、誤って「System Reset」を選択してしまうと同機のネットワーク設定が初期化されてしまいますので、お間違えのないようご注意ください。

**メモ**

左図のバージョン番号は表示の一例であり、実際のものとは異なります。

**バージョンアップの確認**

Information画面（☞ MCX-A10取扱説明書72ページ）のVersion欄に「3.0.x」と表示されていることをご確認ください。

# 機能・設定にロックをかける（ロック機能）

今回のバージョンアップで新たに追加された「ロック機能」では、パスワードを適用してサーバー機の機能実行や設定の変更操作を制限することができます。例えば「削除」機能をロックした場合、パスワードを入力しないと削除が実行されないため、誤った曲の削除やお子様による不正な操作などを未然に防ぐことが可能です。既存のクライアント機をロックする機能(☞MCX-1000取扱説明書142ページ)とは別の機能で操作方法も異なりますのでご注意ください。

ロック機能の適用が可能な機能・設定は以下のとおりです。

**システム設定メニュー**
このメニューでは、以下の設定の変更操作をロックすることができます。

| | |
|---|---|
| ネットワーク | オンスクリーンディスプレイ |
| 日付と時刻 | クライアント |
| ビデオ出力 | キーボード |
| Gracenote CDDB | スタンバイ設定 |
| 再生 | リモコン・ファンクションキー |
| レコーディング | FL 表示の明るさ |
| AV アンプ | ハードディスクユーティリティ |
| 自動音量調整 | システムユーティリティ |

**編集機能メニュー**
このメニューでは、ライブラリーで使用する以下のサブメニューの機能の操作をロックすることができます。

| | |
|---|---|
| タイトル編集 | ブックマーク On/Off |
| 削除 | プレイリスト登録 |
| 移動 | プレイリスト化 |
| 新規作成 | PROGRAM 保存 / 解除 (AV アンプ ) |
| リンク追加 | 直接再生キー設定 |
| コピー | タイトル編集 ( プリセット ) |
| 名称編集 ( クライアント ) | クリア（曲統計） |

**録音 (CDR/RW の作成 ) メニュー**
このメニューでは、以下の CD 録音機能の操作をロックすることができます。

| | |
|---|---|
| ライブラリーから作成 | 録音設定 |
| CD の複製 | |

**その他**
このメニューでは、サーバー機のディスクトレイ開閉ボタンおよびリモコンの OPEN/CLOSE キー操作をロックすることができます。

| |
|---|
| CD トレイのオープン |

**ロック機能**

いずれかの機能・設定をロックすると、「システム設定の初期化」による設定の変更を防ぐため、「システム設定」メニューの「システムユーティリティ」も自動的にロックされます。「システムユーティリティ」の機能を使用する場合は、「システムユーティリティ」のロックをオフにするか、パスワード入力を行ってください。(☞システムユーティリティ機能：MCX-1000取扱説明書179ページ)

**「ネットワーク」をロック**

「システム設定」メニューの「ネットワーク」をロックすると、接続されている各クライアント機の「Network」と「System Reset」も自動的にロックされます。クライアント機でこれらの機能を使用する場合は、サーバー機の「ネットワーク」のロックをオフにしてください。(☞Network：MCX-A10取扱説明書30ページ、System Reset：同75ページ)

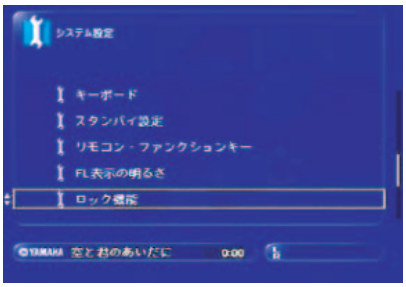
**「編集機能」をロック**

「編集機能」メニューの「タイトル編集」をロックすると、ブラウザ編集機能(☞15ページ)でタイトル編集画面にアクセスできなくなります。また「削除」、「移動」、「新規作成」、「リンク追加」、「コピー」、「プレイリスト登録」のいずれかをロックすると、プレイリスト編集画面にアクセスできなくなります。ブラウザ編集機能を使用するには、サーバー機で関連機能のロックをオフにしてください。

# 機能のロックをオン/オフにする

以下の手順で特定したサーバー機の機能・設定のロックをオン/オフにすることができます。

**1** 「トップメニュー」➔「システム設定」➔「ロック機能」を選択する。




パスワード入力画面が表示されます。

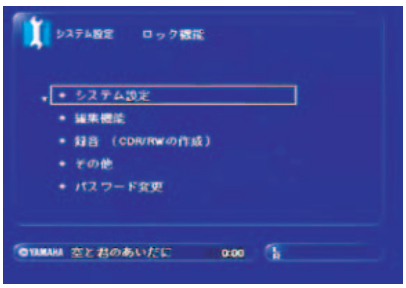
**2** ∧/</∨/>キーとSELECTキーでパスワードを入力し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




ロック機能のメニュー選択画面が表示されます。

**3** ∧/∨キーでロックをオン/オフにする機能が含まれるメニュー（システム設定/編集機能/録音/その他）を選択し、SELECTキーを押す。




機能選択画面が表示されます。

**初期パスワード**

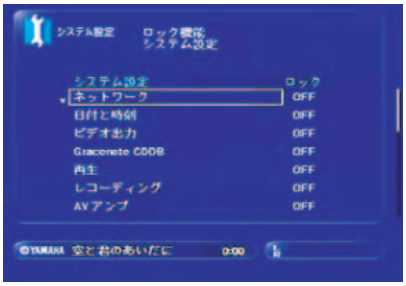
初期状態では「mcx-1000」がパスワードに設定されています。必要に応じて変更してください (☞11ページ)。尚、パスワードには大文字・小文字の区別がありますので入力する際ご注意ください。

**パスワードを忘れた場合**

パスワードの初期化(☞13ページ)を実行してください。

**4** ∧/∨キーでロックをオン/オフにする機能を選択し、SELECTキーを押す。

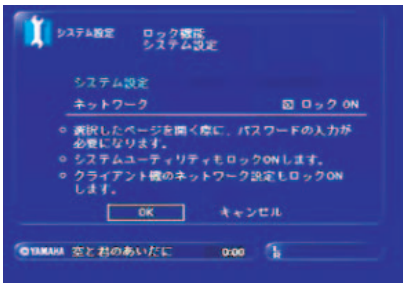
メニュー選択画面に戻る場合は、BACKキーを押します。




ロック機能オン/オフ画面が表示されます。

**5** ロック機能をオンにする場合、SELECTキーを押してチェックボックスにチェックを入れ、∧/</∨/>キーで「OK」を選択してSELECTキーを押す。

オフにする場合は、チェックを外してから「OK」を選択し、SELECTキーを押します。




選択した機能のロックがオン/オフになり、機能選択画面に戻ります。
続けて他の機能のロックをオン/オフにする場合は、手順4、5を繰り返してください。

# ロックした機能を操作する（パスワード入力）

選択した機能のロックがオンになっていると、パスワード入力画面が表示されます。この場合、以下の手順でその機能を操作することができます。

∧/</∨/>キーとSELECTキーでパスワードを入力し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




選択した機能の操作が可能になります。

**パスワードを忘れた場合**

パスワードの初期化(☞13ページ)を実行してください。

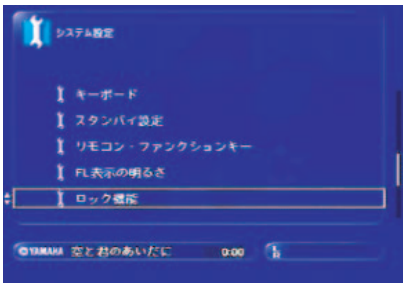
# パスワードを変更/初期化する

以下の手順でロック機能のパスワードを変更/初期化することができます。

## ▶ パスワードの変更

以下の手順でパスワードを変更することができます。尚、パスワードには大文字・小文字の区別がありますので、設定する際ご注意ください。

**1** 「トップメニュー」➔「システム設定」➔「ロック機能」を選択する。




パスワード入力画面が表示されます。

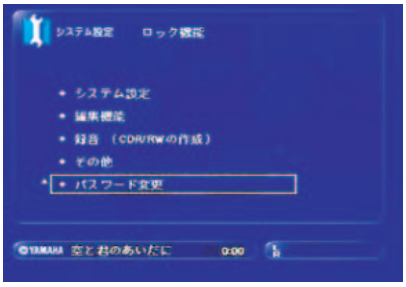
**2** ∧/</∨/>キーとSELECTキーで現在のパスワードを入力し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




ロック機能のメニュー選択画面が表示されます。

**3** ∧/∨キーで「パスワード変更」を選択し、SELECTキーを押す。




パスワード変更画面が表示されます。

**パスワードの設定**

5文字から14文字のアルファベット（大文字・小文字）・数字・記号を組み合わせて設定することができます。

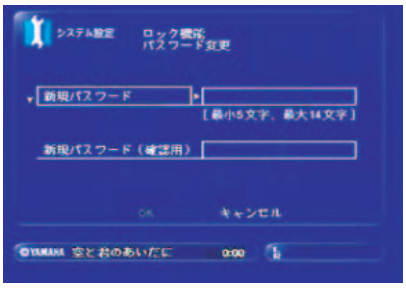
**初期パスワード**

初期状態では「mcx-1000」がパスワードに設定されています。尚、パスワードには大文字・小文字の区別がありますので入力する際ご注意ください。

**パスワードを忘れた場合**

パスワードの初期化(☞13ページ)を実行してください。

**4** ＞キーを押す。




パスワード入力画面が表示されます。

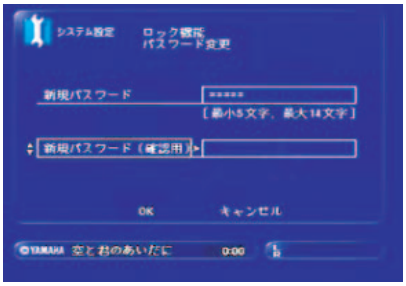
**5** ∧/＜/∨/＞キーとSELECTキーで新しいパスワードを入力し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




パスワード変更画面に戻ります。

**6** ∧/∨キーで「新規パスワード(確認用)」を選択後、＞キーを押す。




パスワード再確認画面が表示されます。

**パスワードの設定**

5文字から14文字のアルファベット（大文字・小文字）・数字・記号を組み合わせて設定することができます。

**メモ**

新しくパスワードを設定した際は、メモして保管しておくことをおすすめします。

**7** ∧/</∨/>キーとSELECTキーで手順5と同じパスワードを再入力し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

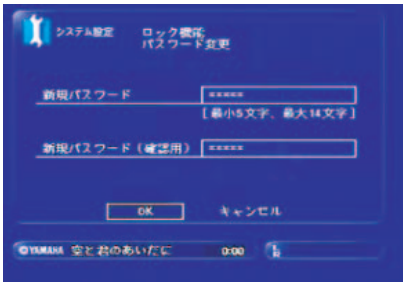
中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




パスワード変更画面に戻ります。

**8** ∧/</∨/>キーで「OK」を選択し、SELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




新しいパスワードが適用されます。

## ▶ パスワードの初期化

ロックした機能を操作したり、ロック機能の設定を変更するにはパスワード入力画面でパスワードを入力する必要があります。設定したパスワードを忘れてしまった場合、パスワード入力画面が表示されている状態で以下の手順を実行してパスワードを初期設定「mcx-1000」に戻すことができます。尚、パスワードには大文字・小文字の区別がありますので、入力する際ご注意ください。

**1** ∧/</∨/>キーとSELECTキーで「MCAST」(すべて大文字)と入力し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




パスワードが初期化され、パスワード入力画面が再度表示されます。

**2** ∧/</∨/>キーとSELECTキーで「mcx-1000」と入力し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




選択した機能の操作が可能になります。
パスワードを初期パスワード「mcx-1000」から変更する場合は、「パスワードの変更」(☞11ページ)の手順を実行してください。

# パソコンでライブラリーを編集する（ブラウザ機能）

今回のバージョンアップで新たに追加された「ブラウザ機能」では、サーバー機のディスプレイやリモコンを使用せずにパソコンのブラウザとキーボード入力だけで、サーバー機に保存されている音楽データの情報（曲名・アルバム名など）やプレイリストの内容を表示し、効率的に編集することができます。尚、ライブラリーの説明および従来のサーバー機を操作してライブラリーを編集する方法については、MCX-1000取扱説明書60ページをご参照ください。

この機能を使用して実行できる編集操作は以下のとおりです。
・曲・アーティスト・アルバム・ジャンル・コレクション・プレイリストの名称編集
・プレイリストの作成・削除
・プレイリスト内のアイテムの追加・削除・移動・コピー・再生順の変更

## 使用環境

ブラウザ機能の使用にあたり、推奨する環境は以下のとおりです。
（すべての動作を保証するものではありません。）
・パソコン
　OS：Windows XP
　モニター：16ビットカラー以上、1024x768ピクセル以上
　その他：LANポート
・ブラウザ
　Internet Explorer 6.0以上（アクティブスクリプトが有効）

Microsoft、Windows、Internet Explorerは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

## 編集画面の説明

ブラウザ機能では、MusicCAST専用の編集画面(タイトル編集・プレイリスト編集)でライブラリーの内容を表示・編集することができます。編集画面で使用するリンクおよび各ボタンとそのはたらきは以下のとおりです。尚、ボタンは状況に応じて使用可能なもののみが表示されます。

| リンク | 説明 |
|---|---|
| タイトル編集 | タイトル編集画面を表示します。 |
| プレイリスト編集 | プレイリスト編集画面を表示します。 |

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| タイトル編集 | テキスト入力エリアに入力した内容を適用して、選択したアイテムの名称を変更します。 |
| キャンセル | テキスト入力エリアに入力した内容を取り消します。 |
| 選択 | 選択したアイテムの 1 つ下の階層にあるアイテムを表示します。 |
| 戻る | 選択したアイテムの1つ上の階層にあるアイテムを表示します。 |
| 前の 50/ 次の 50 | アイテムの数が 50 個を超える場合、リストボックスに表示されているアイテムを 50 個単位で切り替えます。 |
| 1 つ上に移動 /1 つ下に移動 | プレイリスト内で選択したアイテムの登録順序を変更します。( 再生する順序を変更します。) |
| 新規作成 | 新しいプレイリストを作成します。 |
| リンク追加 | 選択したアイテムを指定したプレイリストに追加します。 |
| 移動 | 選択したアイテムを指定したプレイリストに移動します。 |
| コピー | 選択したアイテムを指定したプレイリストにコピーします。 |
| 削除 | 選択したアイテムを指定したプレイリストから削除します。 |
| ログオフ | パソコンをサーバー機からログオフします。 |

**ご注意**

編集操作には必ず編集画面内の各ボタンをご使用ください。ツールバーの機能などブラウザに付属している機能を使用すると、編集操作が正しく実行されない場合があります。

**プレイリスト編集画面**

プレイリスト編集画面は2つのリストボックスで構成されています。「選択」や「戻る」など同じボタンが2つ表示されている場合、画面左側のリストボックスを操作する際は画面左側のボタンを、画面右側のリストボックスを操作する際は画面右側のボタンをご使用ください。

# パソコンをサーバー機に接続する

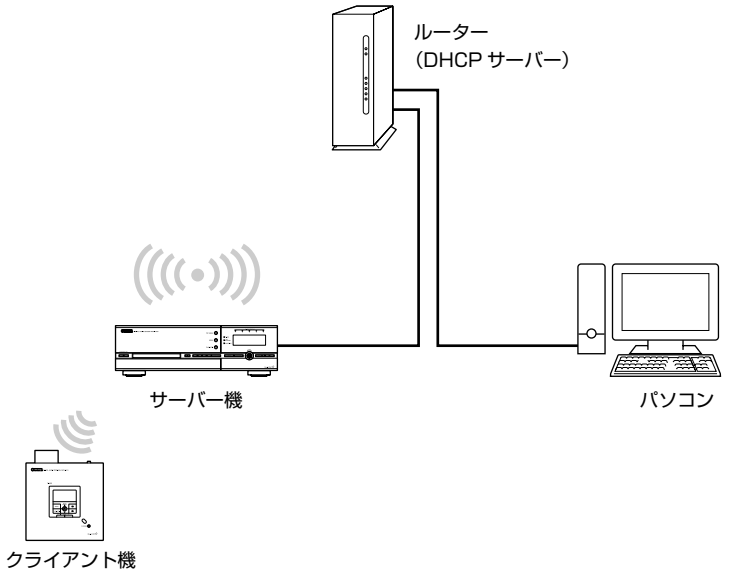
以下の手順でご使用のパソコンとサーバー機を接続し、ライブラリーを編集するための準備をします。

## ▶ パソコンとサーバー機の接続

パソコンからサーバー機にアクセスするには、まずパソコンとサーバー機を接続します。下図のようにルーター経由でパソコンとサーバー機を接続することをおすすめします。

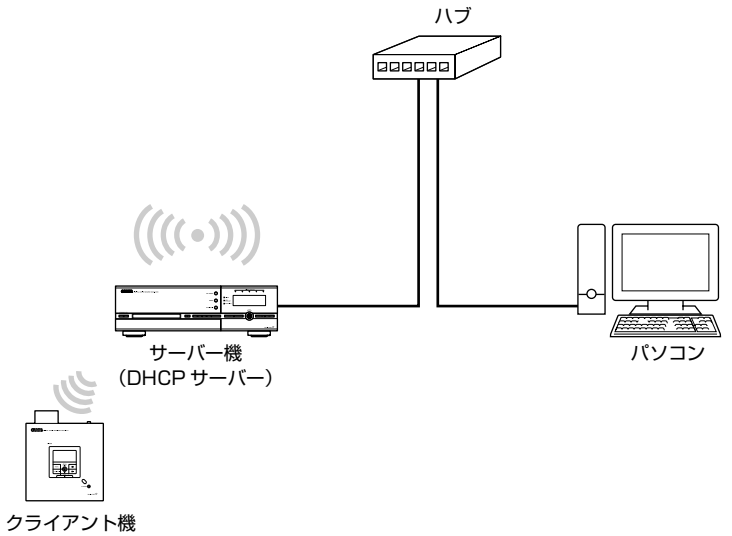
### ルーターのDHCPサーバーを使用する場合

サーバー機、クライアント機、パソコンの各IPアドレスはルーターより自動で取得するように設定します。




### サーバー機のDHCPサーバーを使用する場合

クライアント機のIPアドレスはサーバー機より自動で取得するように設定します。パソコンのIPアドレスはサーバー機より取得することができないので、手動で設定してください。




**ネットワークの設定**

サーバー機のネットワークの設定方法についてはMCX-1000取扱説明書165ページをご参照ください。クライアント機のネットワークの設定方法についてはMCX-A10取扱説明書27ページをご参照ください。またパソコンのネットワークの設定方法についてはご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

**メモ**

パソコンの設定を変更する際は、現在の設定情報をメモして保管しておくことをおすすめします。必要の際は、メモを参照して設定をお戻しください。

**パソコンの設定例**

以下はパソコンのネットワーク設定を変更するときの例です。

MusicCASTシステムを初期設定のまま使用している場合
・IPアドレス
　192.168.1.10
・サブネットマスク
　255.255.255.0

## ▶ サーバー機にログオン

以下の手順でご使用のパソコンからサーバー機にログオンすることができます。

**1** Windowsをご使用の場合、パソコンのブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://musiccast」と入力してEnterキーを押す。

Windows以外のOSをご使用の場合は、アドレス入力欄にサーバー機のIPアドレスを入力してEnterキーを押します。




ライブラリー編集ログオン画面が表示されます。
Windows使用時に上記の手順でライブラリー編集ログオン画面を表示できない場合は、アドレス入力欄にサーバー機のIPアドレスを入力してEnterキーを押してください。

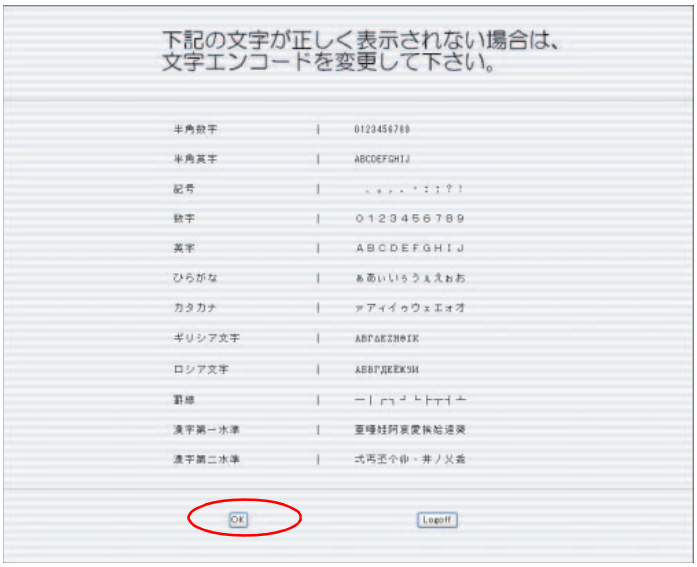
**2** 使用する言語を選択し、「ログオン」をクリックする。




文字表示の確認画面が表示されます。

**3** 以下の画面のようにすべての文字が正しく表示されていることを確認し、問題がなければ「OK」をクリックする。

文字が正しく表示されていない場合は、ブラウザのメニューバーから「表示」➔「エンコード」➔「日本語(EUC)」を選択し、再度文字の表示を確認します。




ログオンが完了し、タイトル編集画面が表示されます。
目的に応じて編集操作（18ページから25ページ）を開始してください。

**ログオン**

サーバー機が以下の状態(操作を実行中)の場合、パソコンからのログオンはできません。またこれとは逆に、パソコンからログオン中にサーバー機で以下の操作を実行することはできません。

- スリープ
- ライブラリー編集
- 録音(CD/外部入力)、CD作成
- ブロードキャスト再生
- サーバー機の録音タイマー機能オン
- 関連する編集機能のロック機能オン
- 他のパソコンでログオン

**サーバー機の IP アドレス**

サーバー機のIPアドレスの確認方法についてはMCX-1000取扱説明書175ページをご参照ください。但しIPアドレスの取得にDHCPサーバーを使用している場合は、サーバー機の電源を入れる毎にIPアドレスが取得されるため、IPアドレスが常に一定であるとは限りません。サーバー機のDHCPサーバー設定については同165ページをご参照ください。

**自動ログオフ**

ログオン中にブラウザの無操作状態が10分間続いた場合、自動的にサーバー機からログオフされます。

**ご注意**

ブラウザでの編集を終了する際は、必ず「ログオフ」をクリックしてください。ログオフせずに終了した場合、自動ログオフまでの10 分間、ログオン状態が継続します。10分以内にログオフするときは、再度ログオンして「ログオフ」をクリックしてください。

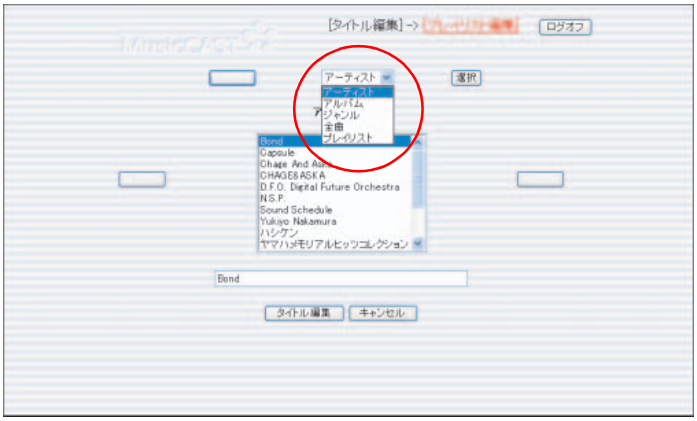
# アイテムの名称を編集する

以下の手順でライブラリーに登録されているアイテム（曲・アーティスト・アルバム・ジャンル・コレクション・プレイリスト）の名称を編集することができます。

**1** 「サーバー機にログオン」（17ページ）の手順を実行する。

タイトル編集画面が表示されます。

**2** 選択ボックスをクリックし、名称編集するアイテムが登録されているグループを選択する。




選択したグループ内のアイテムが表示されます。

**3** 編集するアイテムをクリックする。

さらに下層に登録されているアイテムを選択する場合は、「選択」をクリックして下層のアイテムを表示し、編集するアイテムをクリックします。



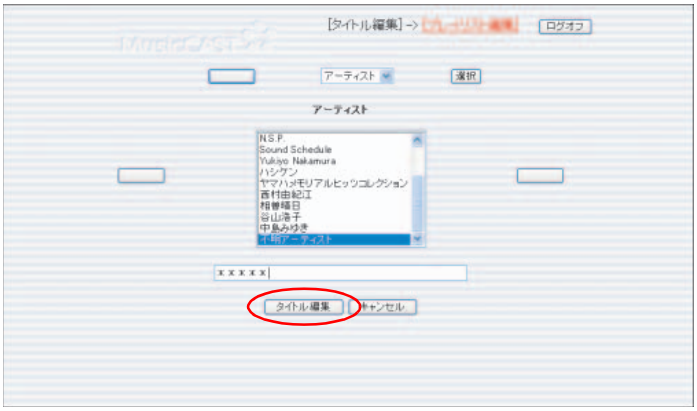

テキスト入力欄に選択したアイテムの名称が表示されます。

**編集画面のボタン**

各ボタンの説明について詳しくは「編集画面の説明」(☞15ページ)をご参照ください。

**4** テキスト入力エリアに新しい名称を入力し、「タイトル編集」をクリックする。

編集を中止する場合は、「キャンセル」をクリックします。




選択したアイテムに新しい名称が適用されます。

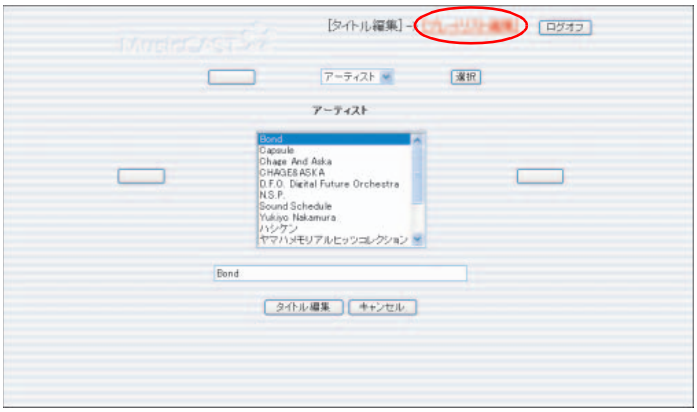
## プレイリストを新規作成する

以下の手順でライブラリーにプレイリストを新規作成することができます。

**1** 「サーバー機にログオン」（17ページ）の手順を実行する。

タイトル編集画面が表示されます。

**2** 「プレイリスト編集」をクリックする




プレイリスト編集画面が表示されます。

**ご注意**

半角カタカナや機種依存文字(①、Ⅲなど)はサーバー機で正しく表示することができないため、ご使用にならないでください。また全角英数を使用した場合、該当アイテムのライブラリーでの登録順序(再生する順序)は半角英数の名称を持つアイテムの後になります。

**アイテム名の文字数**

曲・アーティスト・アルバム・プレイリストを選択した場合の最大文字数は全角63文字（半角127文字）、ジャンル・コレクションを選択した場合の最大文字数は全角31文字（半角63文字）になります。この文字数を超えて入力した場合、超過分はサーバー機で反映されません。

**作成できるプレイリスト数**

ライブラリーには最大1007個のプレイリストを作成することができます。

**編集画面のボタン**

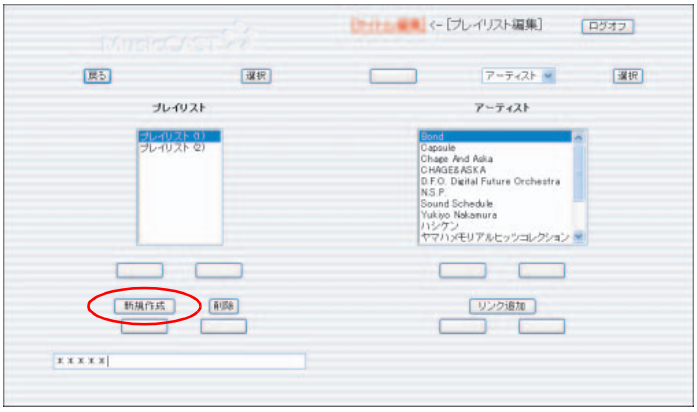
各ボタンの説明について詳しくは「編集画面の説明」(☞15ページ)をご参照ください。

**3** 画面左側でコレクションを選択し、「選択」をクリックする。




画面左側に選択したコレクション内のプレイリストが表示されます。

**4** テキスト入力エリアに作成するプレイリストの名称を入力し、「新規作成」をクリックする。




新しいプレイリストが作成され、画面左側のプレイリスト一覧に表示されます。

**ご注意**

半角カタカナや装飾記号（①など）はサーバー機で正しく表示することができないため、ご使用にならないでください。また全角英数を使用した場合、該当プレイリストのライブラリーでの登録順序は半角英数の名称を持つプレイリストの後になります。

**プレイリスト名の文字数**

全角文字を使用した場合は最大63文字、半角文字を使用した場合は最大127文字になります。この文字数を超えて入力した場合、超過分はサーバー機で反映されません。

**メモ**

テキストを何も入力せずに「新規作成」をクリックした場合は、「プレイリスト」という名称のプレイリストが作成されます。

# プレイリストにアイテムを追加する

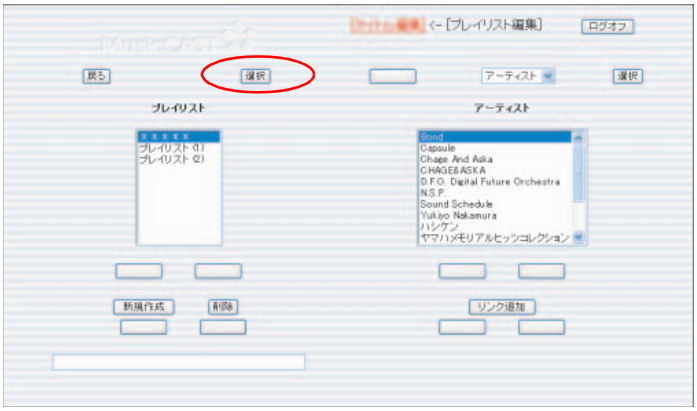
以下の手順でプレイリストにアイテムを追加することができます。

**1** 「プレイリストを新規作成する」（19ページ）の手順1から3を実行する。

画面左側に選択したコレクション内のプレイリストが表示されます。

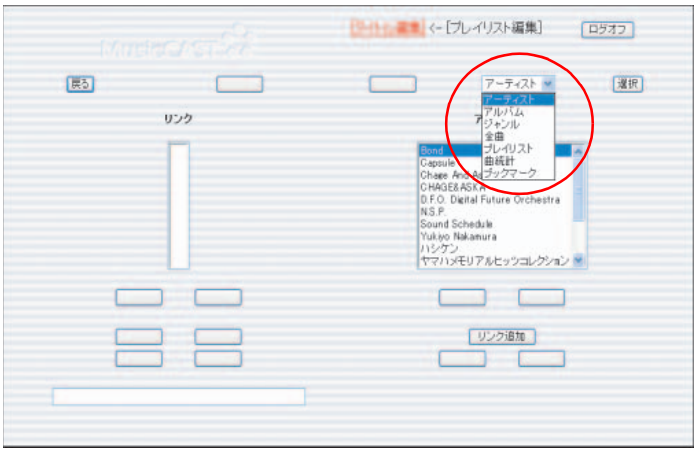
**2** 画面左側でアイテムを追加するプレイリストを選択し、「選択」をクリックする。

選択したプレイリスト内のアイテムを確認しない場合は、「選択」をクリックせずに手順3に進みます。




画面左側に選択したプレイリスト内のアイテムが表示されます。

**3** 選択ボックスをクリックし、追加するアイテムが登録されているグループを選択する。




画面右側に選択したグループ内のアイテムが表示されます。

**プレイリストに登録できるアイテム数**

1つのプレイリストには最大999個のアイテムを登録することができます。

**編集画面のボタン**

各ボタンの説明について詳しくは「編集画面の説明」(☞15ページ)をご参照ください。

**4** 画面右側で追加するアイテムを選択し、「リンク追加」をクリックする。

さらに下層に登録されているアイテムを追加する場合は、「選択」をクリックして下層のアイテムを表示し、アイテムを選択して「リンク追加」をクリックします。




プレイリストに選択したアイテムが追加されます。

# プレイリストからアイテムを削除する

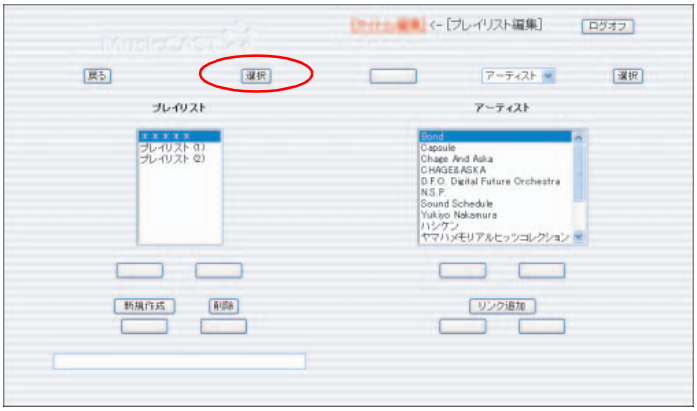
以下の手順でプレイリストからアイテムを削除することができます。

**1** 「プレイリストを新規作成する」（19ページ）の手順1から3を実行する。

画面左側に選択したコレクション内のプレイリストが表示されます。

**2** 画面左側でアイテムを削除するプレイリストを選択し、「選択」をクリックする。

プレイリストとプレイリスト内のすべてのアイテムを削除する場合は、プレイリストを選択して「削除」をクリックします。手順3を実行する必要はありません。



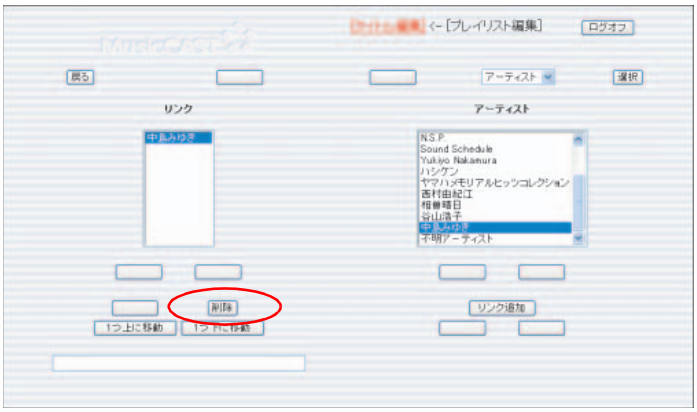

画面左側に選択したプレイリスト内のアイテムが表示されます。

**編集画面のボタン**

各ボタンの説明について詳しくは「編集画面の説明」(☞15ページ)をご参照ください。

**3** 画面左側で削除するアイテムを選択し、「削除」をクリックする。

さらに下層に登録されているアイテムを削除する場合は、「選択」をクリックして下層のアイテムを表示し、アイテムを選択して「削除」をクリックします。




プレイリストから選択したアイテムが削除されます。

## アイテムを別のプレイリストに移動/コピーする

以下の手順でプレイリストのアイテムを移動またはコピーして別のプレイリストにそのアイテムを追加することができます。

**1** 「プレイリストを新規作成する」（19ページ）の手順1から3を実行する。

画面左側に選択したコレクション内のプレイリストが表示されます。

**2** 画面左側でアイテムを追加するプレイリストを選択し、「選択」をクリックする。

選択したプレイリスト内のアイテムを確認しない場合は、「選択」をクリックせずに手順3に進みます。




画面左側に選択したプレイリスト内のアイテムが表示されます。

**プレイリストに登録できるアイテム数**

1つのプレイリストには最大999個のアイテムを登録することができます。

**編集画面のボタン**

各ボタンの説明について詳しくは「編集画面の説明」(☞15ページ)をご参照ください。

**3** 選択ボックスをクリックし、「プレイリスト」を選択する。




画面右側にコレクション一覧が表示されます。

**4** 画面右側で移動/コピー元プレイリストが登録されているコレクションを選択し、「選択」をクリックする。




画面右側に選択したコレクション内のプレイリストが表示されます。

**5** 画面右側で移動/コピーするアイテムが登録されているプレイリストを選択し、「選択」をクリックする。




画面右側に選択したプレイリスト内のアイテムが表示されます。

**6** 画面右側で移動/コピーするアイテムを選択し、「移動」/「コピー」をクリックする。

さらに下層に登録されているアイテムを移動/コピーする場合は、「選択」をクリックして下層のアイテムを表示し、アイテムを選択して「移動」/「コピー」をクリックします。




手順2で指定したプレイリストに選択したアイテムが追加されます。（移動した場合は元のプレイリストから選択したアイテムが削除されます。）

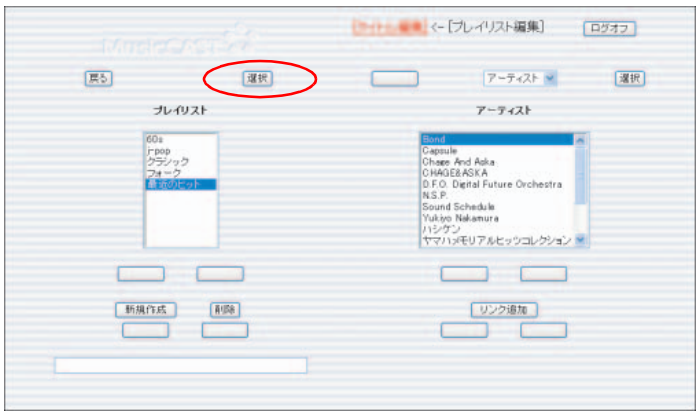
## プレイリストのアイテム登録順序を変更する（再生順序を変更する）

以下の手順でプレイリスト内のアイテムの登録順序を変更して、該当プレイリストを再生する際の曲順を変更することができます。

**1** 「プレイリストを新規作成する」(19ページ)の手順1から3を実行する。

画面左側に選択したコレクション内のプレイリストが表示されます。

**2** 画面左側でアイテムの登録順序を変更するプレイリストを選択し、「選択」をクリックする。

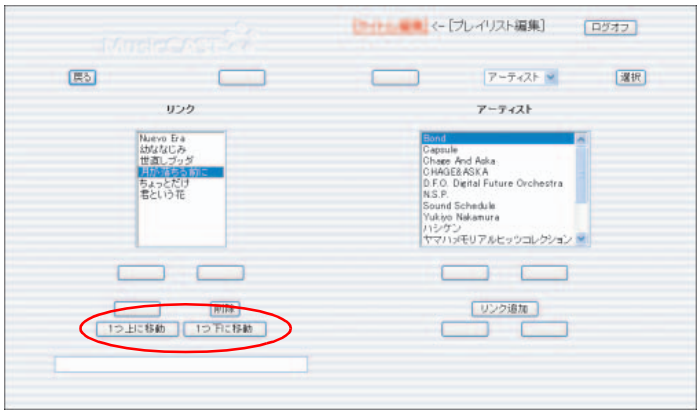



画面左側に選択したプレイリスト内のアイテムが表示されます。

**編集画面のボタン**

各ボタンの説明について詳しくは「編集画面の説明」(☞15ページ)をご参照ください。

**3** 画面左側で登録順序を変更するアイテムを選択し、「1つ上に移動」/「1つ下に移動」をクリックする。




選択したアイテムの登録順序（該当プレイリストを再生する際の曲順）が変更されます。

# CDDBを使用してアルバム情報を更新する

以前はCDの録音時のみCDDBデータベースから曲名・アーティスト名などのアルバム情報（☞MCX-1000取扱説明書62ページ）を取得することが可能でしたが、今回のバージョンアップにより、既にライブラリーに登録済みのアルバムに対してもCDDBからアルバム情報を取得できるようになりました。CD録音時にインターネット未接続でアルバム情報が取得できなかった場合や、間違ったアルバム情報が適用されている場合など、この機能を使用して最新のアルバム情報を取得することができます。尚、アルバム情報を取得するには、検索先データベースが設定されている必要があります。詳しくはMCX-1000取扱説明書185ページをご参照ください。

**更新できないアルバム情報**

アルバム内の曲が移動または削除されている場合、CDDBを使用してアルバムの情報を更新することはできません。特定のアルバムの状態を確認するには、「アルバム情報の更新が可能かどうか確認する」(☞29ページ)の手順を実行してください。また曲単位での情報更新は実行できません。

## アルバム情報を更新する

以下の手順でライブラリーに登録されているアルバムの情報を更新することができます。

**1** 「トップメニュー」→「ライブラリー」を選択する。




ライブラリー画面が表示されます。

**2** ∧/∨キーでアルバムが登録されているグループ（アーティスト/アルバム/ジャンル/曲統計）を選択し、SELECTキーを押す。

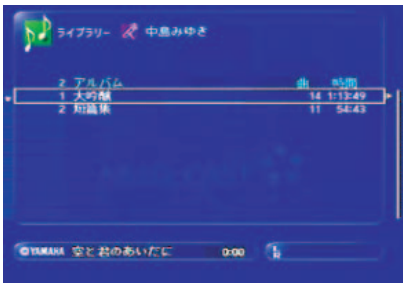
「アーティスト」・「ジャンル」を選択した場合は、（アルバムがさらに下層に登録されているため）∧/∨キーでアルバムが登録されているアーティスト名・ジャンル名を選択し、SELECTを押します。「曲統計」を選択した場合は、∧/∨キーで「最近録音したアルバム」を選択し、SELECTキーを押します。




選択したグループに登録されているアルバム一覧が表示されます。

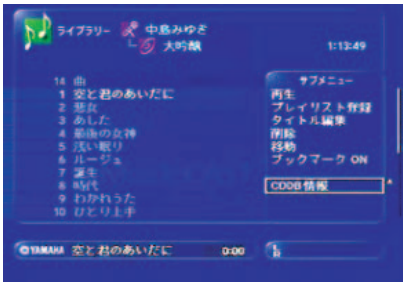
**3** ∧/∨キーで情報を更新するアルバムを選択し、SELECTキーを押す。

選択したアルバム内の曲を確認しない場合は、SELECTキーを押さずに手順4に進みます。




選択したアルバム内の曲が表示されます。

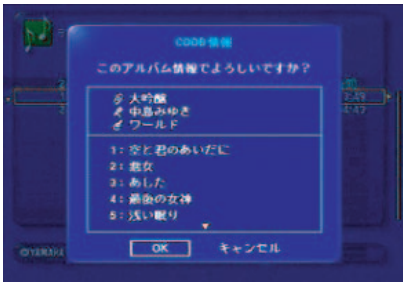
**4** SUB MENUキーを押し、∧/∨キーで「CDDB情報」を選択してSELECTキーを押す。




CDDBデータベースへのアクセスが開始され、検出されたアルバム情報が表示されます。複数の情報が検索された場合は、候補選択画面が表示されます。∧/∨キーで正しい情報を選択し、</>キーで「OK」を選択してSELECTキーを押してください。

**5** ∧/∨キーで画面をスクロールしてアルバム情報の内容を確認し、問題がなければ</>キーで「OK」を選択してSELECTキーを押す。

情報が間違っている場合など更新を中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。候補選択画面(複数の曲情報が検索された時のみ)に戻る場合は、「戻る」を選択してSELECTキーを押します。




アルバムの情報が更新されます。

**ネットワークエラー**

CDDBへのアクセスが実行されずに「ネットワークエラー」というメッセージが表示された場合、CDDBの接続設定が適切でない可能性があります。CDDBの接続設定(☞MCX-1000取扱説明書185ページ)をご確認ください。

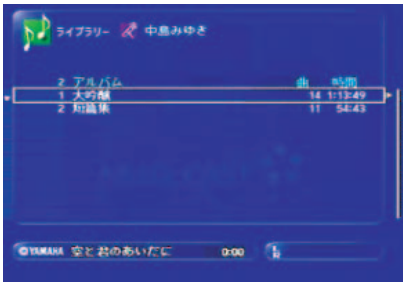
# アルバム情報の更新が可能かどうか確認する

サーバー機に保存されているアルバム内の曲を移動または削除した場合、CDDBを使用してアルバムの情報を更新することはできません。以下の手順で任意のアルバムの情報更新が可能かどうかご確認ください。

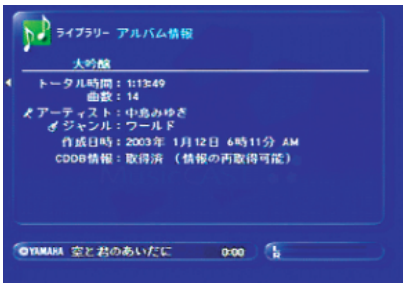
**1** 「アルバムの情報を更新する」（27ページ）の手順１、２を実行する。

選択したグループに登録されているアルバム一覧が表示されます。

**2** ∧/∨キーでアルバムを選択し、>キーを押します。




選択したアルバムのプロパティが表示されます。
取得できる場合はCDDB情報欄に「情報の再取得可能」、アルバム内の曲が移動・削除されていて取得できない場合は「情報の再取得不可能」と表示されます。



# ブックマークからプレイリストを作成する

以前はクライアント機のブックマークをプレイリスト化するために、サーバー機とクライアント機を操作していましたが、今回のバージョンアップにより、サーバー機の操作のみでできるようになりました。

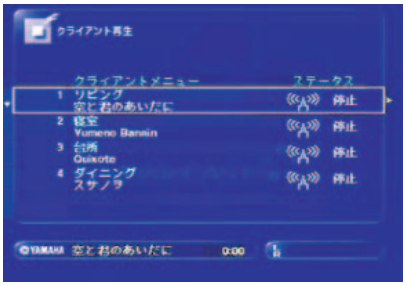
以下の手順でサーバー機を操作してクライアント機のブックマークからプレイリストを作成することができます。

**1** 「トップメニュー」→「クライアント再生」を選択する。




クライアント再生画面が表示されます。

**2** ∧/∨キーでコピー元になるクライアント機を選択し、SELECTキーを押す。




ライブラリー画面が表示されます。

**3** ∧/∨キーで「ブックマーク」を選択し、SELECTキーを押す。

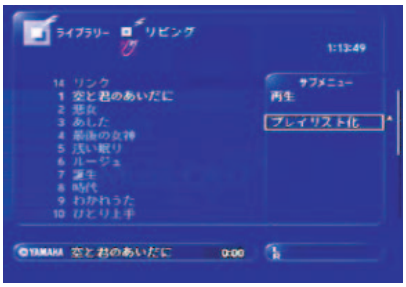



選択したクライアント機のブックマークの内容が表示されます。

**作成できるプレイリスト数**

ライブラリーには最大1007個のプレイリストを作成することができます。

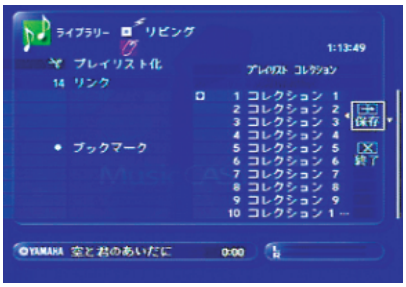
**4** SUB MENUキーを押し、∧/∨キーで「プレイリスト化」を選択してSELECTキーを押す。




コレクション選択画面が表示されます。

**5** ∧/∨キーでプレイリストを登録するコレクションを選択し、>キーで「保存」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「終了」を選択してSELECTキーを押します。




選択したコレクションに新しいプレイリストが作成されます。

**プレイリストの名称**

作成したプレイリストの名称には、自動的に「作成日時」が適用されます。必要に応じて変更してください。(☞プレイリスト名を変更：MCX-1000取扱説明書94ページ)

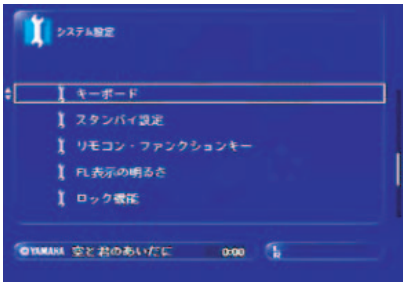
# 文字入力の学習機能を使用する

「文字入力の学習」とは入力した単語を記憶しておく機能のことです。記憶された単語(学習データ)は、その後の文字入力を行う際に変換候補として新しい方から順番に表示されます。MusicCASTは以前からこの学習機能に対応していましたが、機能をオフにすることや学習データを消去することはできませんでした。今回のバージョンアップにより、目的に応じて学習機能をオン/オフに設定にしたり、学習データを消去することが可能になりました。

## 学習機能をオン/オフにする

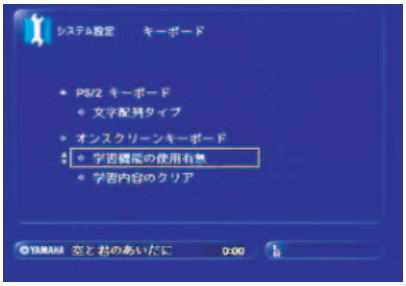
以下の手順で使用する単語を自動的に記憶するかどうか選択することができます。

**1** 「トップメニュー」→「システム設定」→「キーボード」を選択する。




キーボード画面が表示されます。

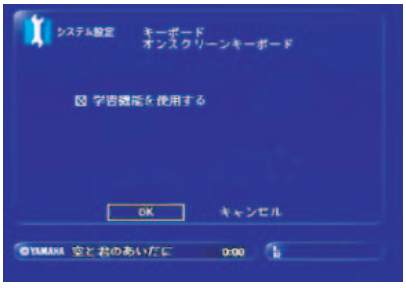
**2** ∧/∨キーで「学習機能の使用有無」を選択し、SELECTキーを押す。




オンスクリーンキーボード画面が表示されます。

**3** 学習機能をオンにする場合、SELECTキーを押して「学習機能を使用する」チェックボックスにチェックを入れ、∧/∨キーで「OK」を選択してSELECTキーを押す。

オフにする場合は、チェックを外してから「OK」を選択し、SELECTキーを押します。




設定が保存されます。

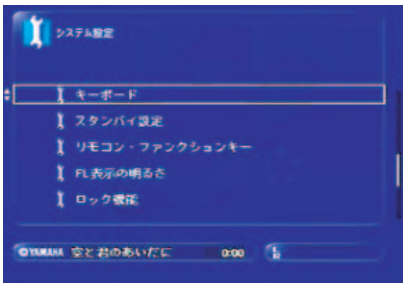
**メモ**

学習機能をオフにしても、既に記憶されている単語は変換候補として表示されます。これらの単語を表示しないようにするには、学習データの消去(☞33ページ)を実行してください。

# 学習データを消去する

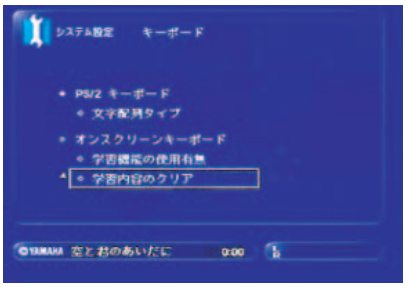
以下の手順で記憶されているすべての単語（学習データ）を消去することができます。

**1** 「トップメニュー」➔「システム設定」➔「キーボード」を選択する。




キーボード画面が表示されます。

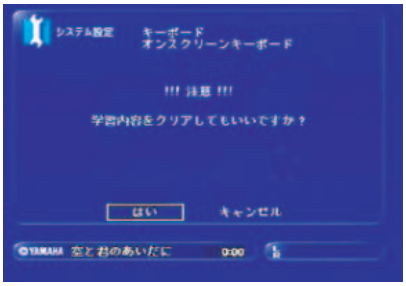
**2** ∧/∨キーで「学習内容のクリア」を選択し、SELECTキーを押す。




確認画面が表示されます。

**3** </>キーで「はい」を選択し、SELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




学習データが消去されます。

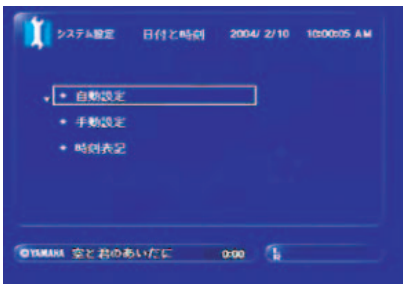
# 日付と時刻を設定する

タイマー機能の時刻表示などサーバー機および接続しているすべてのクライアント機で表示される日付と時刻を設定することができます。以前は1つのメニューで操作していた日付と時刻の自動設定と手動設定が、今回のバージョンアップにより個別のメニューに分割され操作性が向上しました。また12時間表記（AM/PM）が追加され、12/24時間表記の切り替えが可能になりました。

## 自動で設定する（NTPサーバーを使用する）

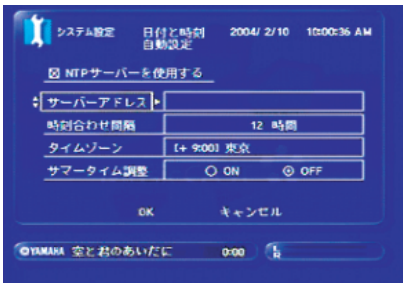
以下の手順で日付と時刻を自動的に調整することができます。

**1** 「トップメニュー」→「システム設定」→「日付と時刻」→「自動設定」を選択する。




日付と時刻の自動設定画面が表示されます。

**2** SELECTキーを押して「NTPサーバーを使用する」にチェックを入れ、へ/く/∨/>キーで「サーバーアドレス」を選択して>キーを押す。




サーバーアドレス入力画面が表示されます。

**3** へ/く/∨/>キーとSELECTキーで使用するNTPサーバーのアドレスを入力し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




日付と時刻の自動設定画面に戻ります。

**NTP サーバーの使用**

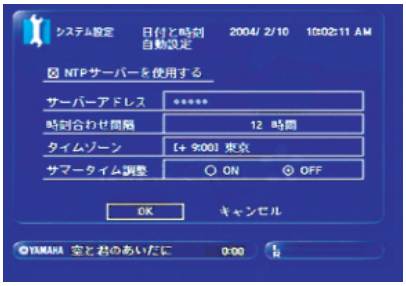
NTPサーバーを使用するには、サーバー機がインターネットに接続されている必要があります。

**NTP サーバーのアドレス**

NTPサーバーのアドレスはご使用のインターネット環境によって異なります。詳しくはMCX-1000取扱説明書183ページをご参照ください。

**4** ∧/</∨/>キーとSELECTキーで「時刻合わせ間隔」、「タイムゾーン」、「サマータイム調整」をそれぞれ設定し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。

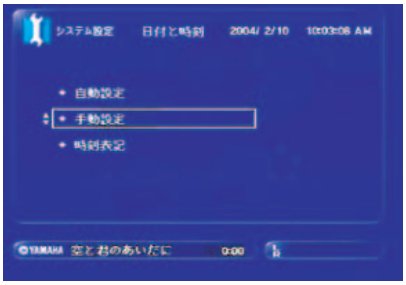



NTPサーバーにより日付と時刻が自動的に検出され、日付と時刻が調整されます。以降は設定した「時刻合わせ間隔」に従って、日付と時刻が自動的に調整されます。

## 日付と時刻を直接入力する

以下の手順で日付と時刻を直接入力して設定することができます。
尚、「自動設定」でNTPサーバー機能がオンになっている場合、手動設定を実行することができません。この場合は自動設定画面（34ページ）で「NTPサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」を選択してから以下の手順を実行してください。

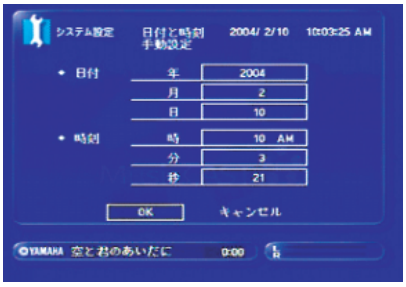
**1** 「トップメニュー」➔「システム設定」➔「日付と時刻」➔「手動設定」を選択する。




日付と時刻の手動設定画面が表示されます。

**2** ∧/</∨/>キーとSELECTキーで日付と時刻をそれぞれ設定し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




日付と時刻が設定されます。

**各種パラメータ**

「時刻合わせ間隔」ではNTPサーバーに自動接続する周期を設定します。「タイムゾーン」では地域の時間帯を設定します。「サマータイム調整」では夏時間のオン/オフを設定します。日本国内でご使用になる場合、「タイムゾーン」で「東京」を、「サマータイム調整」で「OFF」を選択してください。

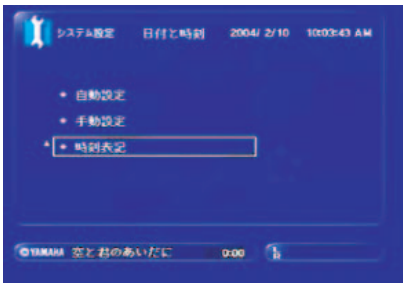
**ネットワークエラー**

日付と時刻の調整が実行されずに「ネットワークエラー」というメッセージが表示された場合、NTPサーバーのアドレスが間違っているか、サーバー機がインターネットに正しく接続されていない可能性があります。NTPサーバーのアドレス、サーバー機とルーターの接続などをそれぞれご確認ください。

# 12/24時間表記を切り替える

以下の手順で時間表示の12時間表記と24時間表記を切り替えることができます。

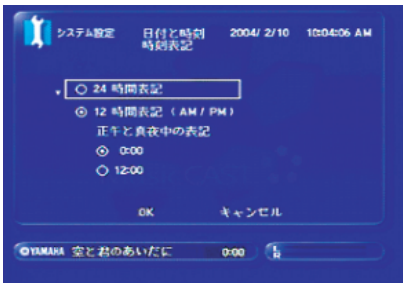
**1** 「トップメニュー」→「システム設定」→「日付と時刻」→「時刻表記」を選択する。




時刻表記画面が表示されます。

**2** ∧/∨キーで「24時間表記」または「12時間表記(AM/PM)」を選択し、SELECTキーを押す。

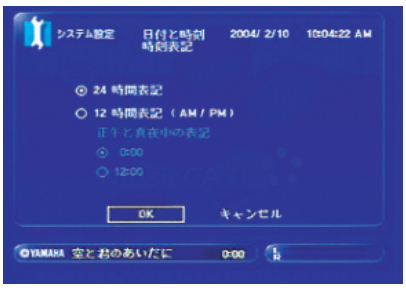
「12時間表記」を選択した場合は、∧/∨キーで正午/真夜中の表示方法を「0:00」または「12:00」から選択し、SELECTキーを押します。




選択した項目のラジオボタンがオンになります。

**3** ∧/</∨/>キーで「OK」を選択し、SELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




選択した設定に従って時刻表記が変更されます。

# データ・設定を個別に初期化する

サーバー機に保存されている曲統計データ・ネットワーク設定・ファンクションキー設定を個別に初期化することができます。

## 曲統計データを初期化する

サーバー機には、サーバー機および各クライアント機の曲統計データ（再生回数順/最近再生した曲/最近録音したアルバム）が保存されています。以下の手順でこの曲統計データを個別に初期化することができます。

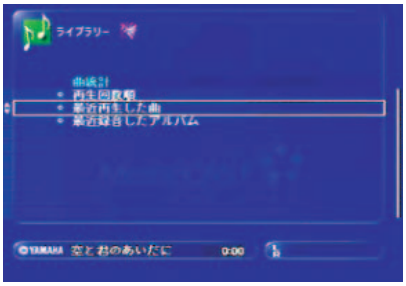
### ▶ サーバー機の曲統計データを初期化

**1** 「トップメニュー」➔「ライブラリー」➔「曲統計」を選択する。



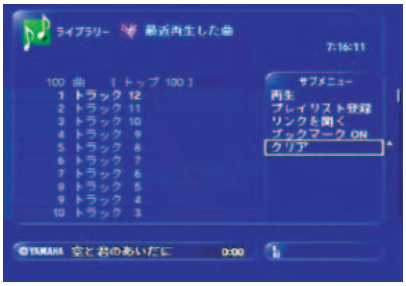

曲統計の種類選択画面が表示されます。

**2** 初期化する曲統計の種類（再生回数順/最近再生した曲/最近録音したアルバム）を選択し、SELECTキーを押す。




曲統計画面が表示されます。

**3** SUB MENUキーを押し、へ/へキーで「クリア」を選択してSELECTキーを押す。



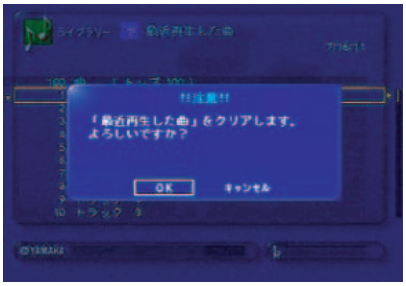

確認画面が表示されます。

**「最近録音したアルバム」データの初期化**

「クライアント機の曲統計データを初期化」(☞38ページ)の手順では「最近録音したアルバム」データを初期化することはできません。同データを初期化するには、「サーバー機の曲統計データを初期化」の手順を実行してください。

**4** </>キーで「OK」を選択し、SELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




サーバー機の選択した種類の曲統計データが初期化されます。

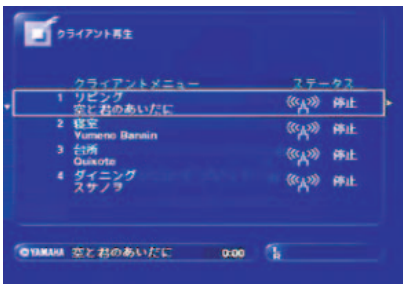
## ▶ クライアント機の曲統計データを初期化

**1** 「トップメニュー」→「クライアント再生」を選択する。




クライアント再生画面が表示されます。

**2** ∧/∨キーで曲統計データ初期化の対象クライアントを選択し、SELECTキーを押す。




ライブラリー画面が表示されます。

**「最近録音したアルバム」データの初期化**

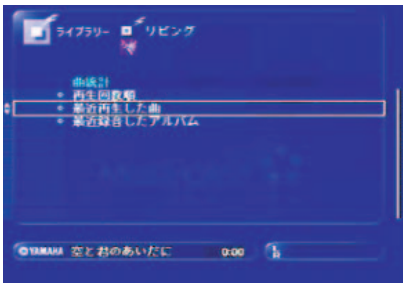
左記の手順では「最近録音したアルバム」データを初期化することはできません。同データを初期化するには、「サーバー機の曲統計データを初期化」(☞37ページ)の手順を実行してください。

**3** ∧/∨キーで「曲統計」を選択し、SELECTキーを押す。



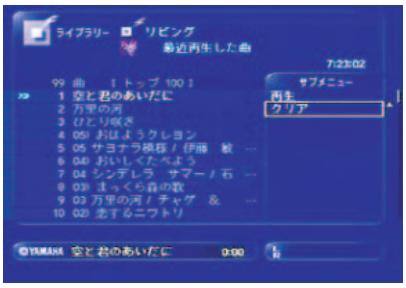

曲統計の種類選択画面が表示されます。

**4** 初期化する曲統計の種類（再生回数順/最近再生した曲）を選択し、SELECTキーを押す。



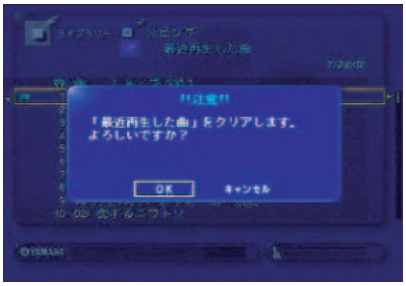

曲統計画面が表示されます。

**5** SUB MENUキーを押し、∧/∨キーで「クリア」を選択してSELECTキーを押す。




確認画面が表示されます。

**6** </>キーで「OK」を選択し、SELECTキーを押す。
中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。

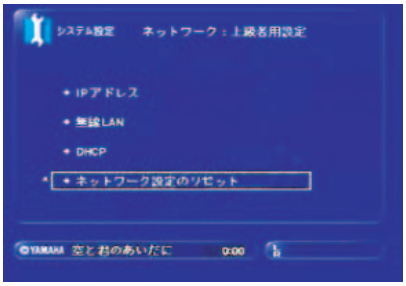



対象クライアント機の選択した種類の曲統計データが初期化されます。

## ネットワーク設定を初期化する

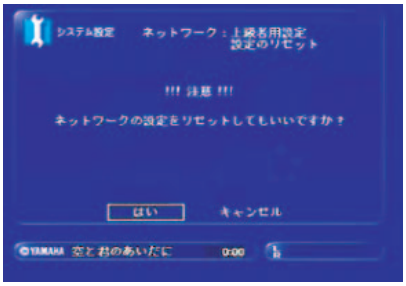
サーバー機には、クライアント登録・ネットワーク情報などMusicCASTシステムのネットワーク設定が保存されています。以下の手順でこのネットワーク設定をすべて初期化することができます。

**1** 「トップメニュー」➔「システム設定」➔「ネットワーク」➔「上級者用設定」➔「ネットワーク設定のリセット」を選択する。




確認画面が表示されます。

**2** </>キーで「はい」を選択し、SELECTキーを押す。
中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




すべてのネットワーク設定が初期化されます。

**ご注意**

ネットワーク設定を初期化すると、サーバー機とクライアント機の接続が遮断されるため、すべてのクライアント機の再生が停止します。ネットワーク設定の初期化を実行後クライアント機で音楽を再生するには、ネットワーク自動設定機能（☞MCX-1000取扱説明書161ページ）を実行してサーバー機とクライアント機を再接続してください。

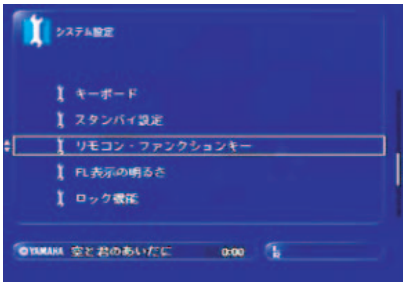
**ネットワークの初期設定**

クライアント登録・ネットワーク情報などネットワークの初期設定についてはMCX-1000取扱説明書180ページをご参照ください。

# ファンクションキー設定を初期化する

ファンクションキー（FUNC 1/FUNC 2/FUNC 3）とは、サーバー機のリモコンに備わっており、目的に応じて機能を割り当ててショートカットとして使用できるボタンのことです（☞MusicCASTバージョンアップマニュアルVol.1の19ページ）。以下の手順でこのファンクションキーの割り当て設定を初期化することができます。

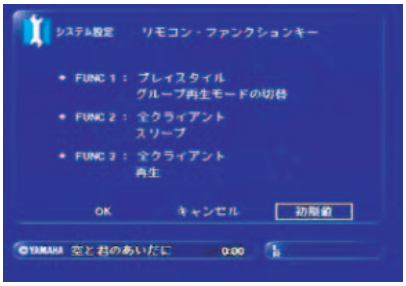
**1** 「トップメニュー」➔「システム設定」➔「リモコン・ファンクションキー」を選択する。




リモコン・ファンクションキー画面が表示されます。

**2** ∧/</∨/>キーで「初期値」を選択し、SELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




各ファンクションキーの割り当て機能選択欄に初期設定の機能が表示されます。

**3** </>キーで「OK」を選択し、SELECTキーを押す。

設定を保存せずに中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




各ファンクションキーに初期設定の機能が適用されます。

**ファンクションキーの初期設定**

初期設定でファンクションキーに割り当てられる機能は以下のとおりです。
FUNC 1: AVアンプ VOL-
FUNC 2: AVアンプ VOL+
FUNC 3: AVアンプ MUTE

# チューナープリセットの局名を編集する

チューナープリセットとは、AVアンプやオーディオ機器などでお好みのラジオ局を登録しておくことができる機能のことです。サーバー機にヤマハAVアンプを接続してラジオ音声を配信する際、AVアンプのチューナープリセットを使用してラジオ局を選択することができます。以前はこのチューナープリセット局名がAVアンプ側の設定(A1、A2など)により表示されていましたが、今回のバージョンアップによりサーバー機に表示する名称をお好みで編集することが可能になりました。尚、チューナープリセット機能についてはご使用のAVアンプの取扱説明書をご参照ください。(MusicCASTが対応しているAVアンプの確認：MCX-1000取扱説明書203ページ、接続方法：同135ページ、設定方法：同188ページ)

以下の手順でサーバー機に表示するチューナープリセット局名を編集することができます。

**1** 「トップメニュー」→「AVアンプ」を選択する。




サーバー機に接続されているAVアンプの設定画面が表示されます。

**2** ＞キーで「プリセット」列にカーソルを移動する。




チューナープリセット選択画面が表示されます。

**3** ∧/∨キーで編集するチューナープリセットを選択し、SUB MENUキーを押す。




サブメニューが表示されます。

**ご注意**

- この機能を使用するには、ご使用のAVアンプにチューナーが内蔵されていて、同機の入力が「TUNER」に設定されている必要があります。
- この機能を使用して編集したプリセット局名はサーバー機の表示にのみ適用されます。AVアンプの表示には適用されませんのでご注意ください。

**チューナープリセット局名の文字数**

「日本語入力」を使用した場合は最大15文字、「直接入力」を使用した場合は最大30文字になります。

**4** ∧/∨キーで「タイトル編集」を選択し、SELECTキーを押す。




テキスト入力画面が表示されます。

**5** ∧/</∨/>キーとSELECTキーで新しいプリセット局名を入力し、「OK」を選択してSELECTキーを押す。

中止する場合は、「キャンセル」を選択してSELECTキーを押します。




選択したチューナープリセット局に新しい名称が適用されます。

**チューナープリセット局名の文字数**

「日本語入力」の場合は最大15文字、「直接入力」の場合は最大30文字になります。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。
このページは、安全にご使用いただくために AV 製品全般について記載しております。

## ■製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは

**お客様ご相談センター**

**TEL　(0570) 01 - 1808（ナビダイヤル）**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS からは下記番号におかけください。

**TEL（053）460 - 3409**

**FAX　(053) 460 - 3489**

**住所　〒 430-8650 静岡県浜松市中沢町 10-1**

ご相談受付時間　10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00
（日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。）

## ■製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせは

（ヤマハ電気音響製品サービス拠点）

**北海道**　〒 064-8543　札幌市中央区南十条西 1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

**仙台**　〒 984-0015　仙台市若林区卸町 5-7
仙台卸商共同配送センター 3F
TEL (022) 236 - 0249

**首都圏**　〒 143-0006　東京都大田区平和島 2 丁目 1 番 1 号
京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

**浜　松**　〒 435-0016　浜松市和田町 200 ヤマハ（株）和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

**名古屋**　〒 454-0058　名古屋市中川区玉川町 2-1-2
ヤマハ ( 株 ) 名古屋流通センター 3F
TEL (052) 652 - 2230

**大　阪**　〒 565-0803　吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ（株）千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

**四　国**　〒 760-0029　高松市丸亀町 8-7
（株）ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

**九　州**　〒 812-8508　福岡市博多区博多駅前 2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

**愛情点検**

**★永年ご使用の製品の点検を！**

**こんな症状はありませんか？**

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

**すぐに使用を中止してください。**

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

**● 保証期間**
お買い上げ日より 1 年間です。

**● 保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**● 保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

**● 修理料金の仕組み**
- **◆ 技術料**　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- **◆ 部品代**　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- **◆ 出張料**　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

**● 補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

**● 持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

**● 製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

**● スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

**● 摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品（下記参照）が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

**摩耗部品の一例**

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハオーディオ＆ビジュアルホームページ
http://www.yamaha.co.jp/audio/

**ヤマハ株式会社**
〒 430-8650　浜松市中沢町 10-1



©2004 YAMAHA CORPORATION All Rights Reserved.

ヤマハ株式会社
Document version2.0